

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【公開番号】特開2013-3597(P2013-3597A)

【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2011-130543(P2011-130543)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 1 7 0 C

G 0 6 F 3/048 6 5 6 C

G 0 6 F 3/048 6 5 4 D

G 0 1 C 21/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月26日(2014.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の特徴量に基づいて規定される特徴空間における位置を表す位置情報がメタデータとして関連付けられたコンテンツデータ群の中から、所定の条件を満たすコンテンツデータの集合を選択する選択部と、

前記特徴空間の少なくとも一部と、前記選択部により選択された前記コンテンツデータの集合と、を表示画面にあわせて表示する際の表示形式を選択する表示形式選択制御部と、
を備え、

前記表示形式選択制御部は、

前記表示画面に表示される前記特徴空間である表示特徴空間の外側に位置する前記コンテンツデータの集合について、当該コンテンツデータの集合の存在方向を示した方向指示子を含むオブジェクトを前記表示画面内に表示させ、

複数の前記方向指示子がそれぞれ互いに類似した方向を示す場合には、当該複数の方向指示子を更にとりまとめて一つの新たな方向指示子とし、前記表示画面に表示させる、情報処理装置。

【請求項 2】

前記選択部は、前記表示特徴空間からの離隔距離に応じた前記特徴空間における集合の大きさを有するように、前記前記方向指示子に対応する前記コンテンツデータの集合を選択する、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示形式選択制御部は、

前記新たな方向指示子がユーザ操作により選択された場合、前記新たな方向指示子に含まれる前記コンテンツデータの集合に関する情報を、当該コンテンツデータの集合までの離隔距離を反映するように表示させる、請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記表示形式選択制御部は、前記新たな方向指示子に含まれるコンテンツデータの集合に関する情報として、当該コンテンツデータの集合に対応する前記特徴空間の形状及び大きさを反映したオブジェクトを更に表示させる、請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記表示形式選択制御部は、

前記新たな方向指示子がユーザ操作により選択された場合、選択された前記新たな方向指示子が指し示す方向と交差する前記表示画面の端部に対向する端部に向かって前記選択された新たな方向指示子を移動させた後、前記コンテンツデータの集合に関する情報を表示させる、請求項 3 又は 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記特徴空間は、緯度及び経度によって規定される地球表面上の位置を表す空間である、請求項 1 ～ 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記特徴空間は、平面上又は空間上の位置を指定する特徴量によって規定される空間である、請求項 1 ～ 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

所定の特徴量に基づいて規定される特徴空間における位置を表す位置情報がメタデータとして関連付けられたコンテンツデータ群の中から、所定の条件を満たすコンテンツデータの集合を選択することと、

前記特徴空間の少なくとも一部と、選択された前記コンテンツデータの集合と、を表示画面にあわせて表示する際の表示形式を選択することと、
を含み、

前記表示形式を選択する際には、前記表示画面に表示される前記特徴空間である表示特徴空間の外側に位置する前記コンテンツデータの集合について、当該コンテンツデータの集合の存在方向を示した方向指示子を含むオブジェクトが前記表示画面内に表示され、複数の前記方向指示子がそれぞれ互いに類似した方向を示す場合には、当該複数の方向指示子を更にとりまとめて一つの新たな方向指示子とされ、前記表示画面に表示されるようにする、情報処理方法。

【請求項 9】

コンピュータに、

所定の特徴量に基づいて規定される特徴空間における位置を表す位置情報がメタデータとして関連付けられたコンテンツデータ群の中から、所定の条件を満たすコンテンツデータの集合を選択する選択機能と、

前記特徴空間の少なくとも一部と、前記選択機能により選択された前記コンテンツデータの集合と、を表示画面にあわせて表示する際の表示形式を選択する表示形式選択制御機能と、
を実現させ、

前記表示形式選択制御機能が、前記表示画面に表示される前記特徴空間である表示特徴空間の外側に位置する前記コンテンツデータの集合について、当該コンテンツデータの集合の存在方向を示した方向指示子を含むオブジェクトを前記表示画面内に表示させ、複数の前記方向指示子がそれぞれ互いに類似した方向を示す場合には、当該複数の方向指示子を更にとりまとめて一つの新たな方向指示子とし、前記表示画面に表示させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0216】

<情報処理装置の構成について>

以下では、まず、図22を参照しながら、本実施形態に係る情報処理装置10の構成について説明する。図22は、本実施形態に係る情報処理装置10の構成を示したブロック図である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0222

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0222】

なお、表示画面の表示形式を選択することで、クラスタオブジェクトの表示制御を実施する処理については、以下で具体例を挙げながら説明する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0223

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0223】

選択部の一例である利用データ選択部155は、例えば、CPU、ROM、RAM等により実現される。利用データ選択部155は、表示特徴空間からの離隔距離に応じた粒度を有するように、コンテンツデータやコンテンツデータのクラスタの中から、所定の条件を満たすコンテンツデータの集合を選択する。ここで、コンテンツデータの集合は、1つのコンテンツデータのみを要素として有していてもよいし、複数のコンテンツデータを要素として有していてもよい。具体的には、利用データ選択部155は、予め生成されている木構造を利用し、表示画面内の任意の位置に着目する方法や、第1の実施形態で説明した表示画面に表示されている特徴空間とその大きさに着目する方法等に基づいて、表示形式選択制御部153によって利用されるコンテンツやクラスタに関するデータを選択する。利用データ選択部155がコンテンツやクラスタに関するデータを選択する方法は、上記例に限定されるわけではなく、任意の方法を利用することが可能である。利用データ選択部155は、選択したコンテンツやクラスタに関する情報を、表示形式選択制御部153に出力する。